

市議会だより

2020年8月

第10号

新見市議会広報紙 6月定例会

新見市の荘厳な風景 宇山洞（新見市豊永宇山）

岡山県指定天然記念物、宇山洞の洞内から入口の方に振り返ると…。

悠久の時を経て形成された鍾乳洞と鮮やかな森、空の風景を地元の写真愛好会員が切り取ってくれました。

（宇山洞に入洞する場合は、事前に教育委員会への届け出が必要です。）

写真提供：写真で新見を繋げる会

目次

- ② 6月定例会審議内容・表彰
- ③ 6月定例会審議結果
- ④ 常任委員会
- ⑦ 特別委員会
- ⑧ 一般質問
- ⑫ デマにご注意を
- ⑬ 議長等の活動報告・政務活動費収支報告
- ⑭ にーみんの議会Q & A・9月定例会（予定）・編集後記

令和2年 6月定例会 審議内容

いじめ防止対策を強化 議員定数を16人に削減

令和2年6月定例会市議会は6月1日から25日まで開催され、報告10件、条例6件、予算3件、その他の議案6件、請願1件、陳情5件、人事2件、発議4件が審議されました。(継続審査となっていた事案を含む。)主な議案について紹介します。

条例

条例第32号 新見市いじめ問題対策連絡協議会等の設置等に関する条例

いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ防止対策を推進する「新見市いじめ問題対策連絡協議会」を常設すること、いじめ防止に関する重大事項を調査審議し、重大事態が発生した場合においては事実関係を調査する「新見市いじめ問題対策専門委員会」について定めたものです。教育委員会が所管します。

条例第28号 新見市いじめの重大事態に係る再調査委員会設置条例

いじめの重大事態が発生した場合「新見市いじめの重大事態に係る再調査委員会」を設置することができるとの条例です。市長が委嘱する5人以上の委員で構成され、重大事態の再調査を行います。

予算

予算第20号 令和2年度新見市一般会計補正予算(第2号)

旧JR家族寮解体撤去費7160万円、道の駅鯉が窪のエアコン整備工事費1600万円、1世帯3千円の市内飲食店で使えるクーポン券配布事業委託料7000万円、新見千屋温泉いぶきの里改修工事費5億6569万円、令和元年9月集中豪雨で被災した高尾小川地区の市道復旧工事委託料1億2000万円、小学

生にタブレットを配布し授業に活用するGIGAスクール事業に8323万円など補正予算8億7428万円余りを追加しました。

予算第22号 令和2年度新見市一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルス対応予算として、国の特別定額給付金の対象にならなかった令和2年4月28日から令和3年3月31日に生まれる子供に一人当たり10万円を給付する「すくすく育て!出生支援金」1400万円など補正予算1億8342万円を追加することを可決しました。今年度の予算総額は301億6016万円と過去最高になりました。

その他議案

議案第6号 令和元年度千屋公民館新築工事請負契約の変更について

工事を進めていましたが、基礎として使えない土質だったため、土を入れ替える必要が生じ、1306万8千円追加し、工事請負契約を1億7146万8千円に変更することを可決しました。

人事第4号 教育委員会委員の任命同意について

人事第5号 農業委員会委員の任命同意について

以上2件は、任命することに同意

しました。

発議第5号 被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

請願第3号が採択されたことを受け、国に対して次の趣旨の意見書を出すことが議決されました。「被災者生活支援法に基づく支援金の最高額を少なくとも500万円に引き上げる。半壊や一部損壊を支援金支給対象に含めること」

発議第6号 新見市議会の議員定数条例の一部を改正する条例

次期改選からの議員定数は、令和2年3月の議員定数等検討特別委員会では現状の18人に決まりましたが、この度一部の議員から議員定数を16人にする改正案が発議され、本会議で諮った結果、賛成多数となり議員定数は16人に決定しました。

表彰

全国市議会議長会表彰

榎 日出男(議員25年以上)

仲田 康豊(議員20年以上)

藤澤 正則(議員15年以上)

中国市議会議長会表彰

藤澤 正則(正副議長3年以上)

令和2年6月定例会審議結果

●全会一致で可決等したもの

議案番号	議 案 名
報告第1号	市長の専決処分した条例について（新見市税条例等の一部を改正する条例）
報告第2号	市長の専決処分した条例について（新見市都市計画税条例の一部を改正する条例）
報告第3号	市長の専決処分した条例について（新見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
報告第4号	市長の専決処分した条例について（新見市税条例の一部を改正する条例）
報告第5号	市長の専決処分した条例について（新見市都市計画税条例の一部を改正する条例）
報告第6号	市長の専決処分した条例について（新見市介護保険条例の一部を改正する条例）
報告第7号	市長の専決処分した条例について（新見市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例）
報告第9号	市長の専決処分した予算について（令和2年度新見市一般会計補正予算（第1号））
報告第10号	市長の専決処分した予算について（令和2年度新見市水道事業会計補正予算（第1号））
条例第28号	新見市いじめの重大事態に係る再調査委員会設置条例
条例第29号	新見市地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例
条例第30号	新見市学術交流センター条例の一部を改正する条例
条例第31号	新見市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
条例第32号	新見市いじめ問題対策連絡協議会等の設置等に関する条例
条例第33号	新見市附属機関設置条例の一部を改正する条例
予算第22号	令和2年度新見市一般会計補正予算（第3号）
議案第3号	第3次新見市総合計画について
議案第4号	岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合を組織する地方公共団体数の減少並びに岡山県市町村総合事務組合規約の変更について
議案第5号	字の区域・名称の変更について
議案第6号	令和元年度千屋公民館新築工事請負契約の変更について
議案第7号	動産（高規格救急自動車）の買入れについて
議案第8号	動産（トレーラーハウス）の買入れについて
発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）
発議第4号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書（案）
発議第5号	被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める意見書（案）
人事第4号	教育委員会委員の任命同意について
人事第5号	農業委員会委員の任命同意について

●議案に対して賛否が分かれたもの

		議席番号																
議案番号	議員名	1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	議案名	西川照雄	岡崎裕生	古川英明	宮本英基	小河俊文	岩田秀之	山本昌次	杉本美智子	難波孝一	小郷昌一	林光和	塩飽満路	橋本亨子	仲田康豊	榎日出男	石田 實	
報告第8号	市長の専決処分した条例について (新見市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
予算第20号	令和2年度新見市一般会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	
予算第21号	令和2年度新見市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
発議第6号	新見市議会議員定数条例の一部を改正する条例(案)	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	

※「○」は賛成、「×」は反対、「－」は欠席。議席番号7番は欠番。議長は表決に加わりません。

総務消防 常任委員会

高規格救急自動車 購入契約を議決

総務消防常任委員会は6月12日（金）に開催し、付託された10議案と陳情1件を審査した後、執行部からの報告事項と委員からの調査を行いました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

報告第1号 市長の専決処分した条例について（新見市税条例等の一部を改正する条例）

報告第2号 市長の専決処分した条例について（新見市都市計画税条例の一部を改正する条例）

報告第3号 市長の専決処分した条例について（新見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

報告第4号 市長の専決処分した条例について（新見市税条例の一部を改正する条例）

報告第5号 市長の専決処分した条例について（新見市都市計画税条例の一部を改正する条例）

報告第1号から報告第5号は地方税法の一部改正によるものです。

条例第28号 新見市いじめの重大事態に係る再調査委員会設置条例

市長が教育委員会、学校等から報告を受け重大事態と同種の事態の発生防止のため必要があると認められる場合、再調査を行うために再調査委員会を設置するために条例を制定するものです。

条例第29号 新見市地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例

国の改正により期限を2年間延長するものです。

条例第30号 新見市学術交流センター条例の一部を改正する条例

地域共生推進センターの施設使用料を決めるものです。

議案第4号 岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合を組織する地方公共団体数の減少並びに岡山県市町村総合事務組合規約の変更について

組合規約を変更することについて地方自治法第286条第1項の規定により議会の議決を求めるものです。議案第7号 動産（高規格救急自動車）の買入れについて

予定価格が2千万円を超えているので地方自治法の規定及び市の条例規定により議会の議決を求めるものです。全員一致で可決しました。



高規格救急自動車

陳情第24号 地方財政の充実・強化を求める陳情書

人口減少の中で地方財政は疲弊しており、新型コロナウイルス感染症のため自主財源もどんどん減少しているため必要である、と全員一致で採択しました。

調査事件について

委員問 ダムの事前放流について

答弁 市内6つのダムがすべて放流すると聞いています。

事前放流の基準は、上流の39時間先の予想雨量と累積雨量の合計が140ミリを超えることが2回連続した場合に、事前放流することとされています。

文教福祉 常任委員会

高校生からの陳情は 一部採択

文教福祉常任委員会は6月15日（月）に開催され、付託された6議案と請願1件、陳情3件を審査した後、執行部からの報告事項と委員からの調査を行いました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

報告第8号 市長の専決処分した条例について（新見市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

新型コロナウイルス感染症に感染し休業した国保被保険者に対し、傷病手当金を支給する条例改正案です。委員からは、個人事業主が傷病手当金支給対象でないことを理由に反対する意見も出されましたが、賛成多数で原案通り可決しました。

陳情第15号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める陳情書

この陳情は令和元年12月議会から継続審査となっていました。「加齢性難聴の線引きは難しい。多数の人

が高齢による難聴になるので公的補助の必要はない。」として不採択とする意見もありましたが、「高齢化社会に備えるため補助制度は必要。補聴器により聞こえが改善することで認知症予防も期待できる。」など採択の意見が6人で多数を占めたため採択され、国へ意見書を上げることになりました。

陳情第22号 新見市のごみ問題に関する対策の陳情

委員会ではマイバッグの普及状況や配布状況などを調査しました。委員の意見は採択、趣旨採択、一部採択、継続審査と分かれたましたが、最終的には一部採択7人、不採択2人、趣旨採択1人で一部採択になりました。採択された部分は次のとおりです。「レジ袋有料化の意義についての広報活動、市報にのみや告知放送を活用したエコバッグ利用の呼びかけ」

報告事項について

●新見美術館橋本吉弘館長は6月末をもって退任し、7月からは藤井茂樹学芸員が館長になることが報告されました。

●コロナウイルスの影響で収入が減った国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険の被保険者は、保険

料の一部または全額が減免できます。7月の市報にのみで広報されています。

●哲多地域の子育て施設（認定こども園）用地検討委員会が6月18日に召集されることが報告されました。

●山田方谷の石碑が作成され、6月23日に除幕式が開催されることが報告されました。

●羅生門立ち入り禁止区域の一部が解除されることが報告されました。

調査事件について

委員問 感染症対応で特別定額給付金や子育て世帯臨時給付金の基準日は3月31日である。それ以降に出生した子供にも給付金を出すよう新見市独自の制度を求める。

答弁 育児支援として検討中である。※最終日の補正予算で「すくすく育て！出生支援金」として予算化されました。

委員問 就学援助は学校が休校で給食がなかった分は支給されていない。休校中も給食があったものとみなして就学援助の対象にするよう求める。

答弁 基本の規定は変更できないが、感染症対応に関することなので対応を協議する。

委員問 千屋公民館の新築工事について、電気設備、空調設備について

の変更はあるか。

答弁 空調について多少の変更点はあるが、予算内である。



8月上旬落成予定の千屋公民館

産業建設常任委員会

大佐山オートキャンプ場にトレーラーハウスを整備

産業建設常任委員会は、6月16日（火）に開催し、6月議会に上程され付託された3議案と陳情1件を審査しました。その後、執行部からの報告事項と委員からの調査を行います。

した。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

条例第33号 新見市附属機関設置条例の一部を改正する条例
議案第5号 字の区域・名称の変更について

議案第8号 動産（トレーラーハウス）の買入れについて

いずれも全員賛成で原案可決しました。なお、トレーラーハウス（3台）は、3490万円で大佐山オートキャンプ場に整備されます。

陳情第25号 市道田曾線改良について

継続審査とし、現地調査も実施します。



トレーラーハウス

報告事項について

●6月1日現在の農地農業施設災害復旧事業の発注状況は、平成30年災害・農地195件中、128件契約済（発注率66%）・完了か所数66件（完了率34%）、農業用施設49件中、48件契約済（発注率98%）・完了か所数26件（完了率53%）（令和元年災害・農地20件中、1件契約済（発注率5%）、農業用施設2件中、1件契約済（発注率50%）と報告を受けました。

●新見千屋温泉いぶきの里の現在の状況は、次期オープンに向けて、施設の保全管理を行っている。休館中に実施するバイオマスボイラ設置工事、空調設備工事、リニューアル及び大規模改修工事の準備を行っている。来年4月のオープンの予定で準備を進めている、と報告を受けました。

いぶきの里の感染防止対策はどうなっているのか、との質問に、例えば食事をする場所は、これまで大広間を仕切るなど新しい生活様式に配慮することを検討する、と回答されました。

●新井倉橋は、6月30日から供用開始され、従来の井倉橋は歩道橋として使用する、と報告がありました。

●道路等の2か年の災害復旧状況は、令和2年6月1日現在で、平



供用開始された新井倉橋

成30年災害・288か所中、249か所契約済（発注率86%）、うち工事完了116か所（完了率40%）、残り39か所については、早急な発注をする、とのことでした。

令和元年9月集中豪雨災害の復旧状況は、6月1日現在で、27か所中1か所契約済（発注率4%）、うち工事完了はなく、令和2年度中に16か所、令和3年度に10か所の発注を考えているとのことでした。

また、現在災害による通行止め路線は17路線となっています。

次に、令和元年9月集中豪雨によ

る市道法木太田線災害復旧事業は、令和2年、3年の2か年で復旧を行うとのことでした。

●市営住宅長寿命化計画について、今後10年間の市営住宅の管理方針を定めたもの。321戸のうち、修繕112戸、建替24戸、用途廃止65戸とし、10年後の供給戸数を256戸とする計画であることの報告を受けました。

調査事件について

委員問 市営住宅長寿命化計画について。

答弁 南高下団地は急傾斜地のため西方の錦町団地跡地への移転も検討している。また、上市の朝倉・横見団地についても、より市街地中心部に近い場所への移転を検討している。現在、居住されている方は、民間アパートや他の住宅への引っ越し等をお願いするよう入居者と相談する。元の場所も検討の対象になるが、生活弱者の方がより住みやすい場所を選定することを考えている。

委員問 いぶきの里スキー場の圧雪車の管理状況と旧圧雪車の状況は。

答弁 現地に向き現状の確認と管理簿のチェックも行っている。旧圧雪車の処理についての進展があれば必ず市へ報告するよう指導している。

予算決算 常任委員会

一般会計・特別会計
補正予算

予算決算常任委員会では、新型コロナウイルス感染症対策として、市長が専決処分した令和2年度補正予算2件と6月本会議に提案された補正予算3件を審査しました。

報告第9号 令和2年度新見市一般会計補正予算（第1号）

企業支援・生活支援・子育て支援などに30億9369万8千円を追加し、総額291億245万3千円を承認しました。



報告第10号 令和2年度新見市水道
事業会計補正予算(第1号)

当該事業年度の債権及び債務として整理する未収金3387万1千円、未払金4641万7千円の追加を承認しました。

予算第20号 令和2年度新見市一般
会計補正予算(第2号)

市内飲食利用クーポン券事業に7000万円、新見千屋温泉いぶきの里リニューアル事業に5億6569万2千円など8億7428万8千円を追加し、総額299億7674万1千円を可決しました。

予算第21号 令和2年度新見市国民
健康保険特別会計補正予算(第1号)

保険給付費に408万8千円を追加し、総額32億2762万7千円を可決しました。

予算第22号 令和2年度新見市一般
会計補正予算(第3号)

議会最終日に上程されました。コロナ禍における経済対策として、企業産業支援に9300万円、子育て支援に3112万9千円、学校対策に3152万2千円、感染予防対策に2776万9千円など1億8342万円を追加し、総額301億6016万1千円を可決しました。

議員定数等検討特別委員会

正副委員長を選任

6月17日(水)に本委員会を開催しました。

仲田康豊委員長の辞任に伴い、新たに小河俊文委員長、山本昌次副委員長を選任しました。

選任後に議員報酬や政務活動費についても意見を出し合いました。

本委員会では、今後も、議員報酬や政務活動費について幅広く意見を聴取し、調査研究を続けていきます。

新見市
第3次総合計画
特別委員会

提出された計画(案)
を一部修正し可決

3月定例議会では追加議案として提出されていた第3次新見市総合計画は、十分に審査するには時間的に余裕がないことから、特別委員会を設置し、継続して審査してきました。特別委員会は、延べ4回の会

議を開催。審議の課程では計画案に対して多くの意見が出されました。

6月23日(火)の第4回特別委員会では、これまでの審議内容を踏まえ、計画案を一部修正することを全員で確認したうえで採決し、賛成多数で可決しました。

議会最終日の本会議では、付帯決議を添え全会一致により可決しました。

(付帯決議の主な内容)

- 1 計画推進に向けては、行政組織の見直しにより、縦割り行政でなく、各課横断的に施策の推進を図ること。
- 2 人口減少対策に向けては、時代の変化に応じ柔軟な対応を図ること。
- 3 コミュニティ政策を最重要課題とし、誰もが生き生きと暮らし地域に活気が溢れるまちの実現に向け、地域の連携・協働の推進を図ること。
- 4 本計画の推進に向け、十分な予算確保を行い執行すること。



新見駅周辺まちづくり
特別委員会

西エリアの整備範囲を
確認

6月18日(木)に本委員会を開催し、各担当者より、新見駅周辺のまちづくりと西エリアの整備に関する進捗状況について説明を受けました。それに対して、市営第1駐車場、第2駐車場の利用状況や旧JR家族寮の取り壊し後の活用方法、西エリアの整備範囲、周辺整備との整合性等、新見駅のバリアフリー化について委員から質問が出ました。

執行部からは、「JRに強く要望しているが、バリアフリー化についてはJRの判断になるので難しい。旧JR家族寮の活用については、本来、事業エリアとしては提供していない。」などの回答がありました。

本委員会では、さらに幅広く意見を聴取し、市民や学生、利用者、地域住民の立場に立った、賑わいのある新見駅周辺整備の実現に向けて調査研究を続けていきます。

一般質問

※質問した議員が原稿の執筆と校正を行っています。



はしもと きょうこ
橋本 亨子
議員

新型コロナウイルス感染症対策について

問 特別定額給付金が、すべての対象者に行き渡る対策を求める。

答 申請率は94.4%。今後状況を見極めながら申請を促すよう働きかけていく。

問 特別定額給付金の支給対象者を今年度中に生まれる新生児まで拡大してはどうか。

答 現在、実施は考えていないが、今後子育て世帯への支援について何ができるか考えていく。

問 夏の海水浴の自粛や学校のプールもないという中で、水道料金の負担が家計をおそうことになると思うが、市民のくらし応援のために水道料金の無料化の実施はできないか。

答 無料化は市民の節水意識の低下を招くことなども考えられると思うが、今後国の補正予算の動向を注視しながら考えていく。

雇用調整助成金の支給状況はどうか。

答 ハローワークによると26件が申請している。新見商工会議所や阿哲商工会では独自の相談窓口を設置しており、相談の情報を共有しながら制度の周知を図っている。

中小や個人の事業者への持続化給付金の申請状況はどうか。

答 事業者が直接国への申請をするもので、申請件数の把握はできないが、商工会議所の3階で相談に応じている。

問 小・中学校が再開した。学習面の遅れや新型コロナウイルス感染症への不安やストレスをため込んでいるのではと憂慮しているが、子どもたちの学びや心身のケア、安全を補償するための人員確保に向けた対策はどうか。

答 各校で、国の感染に関するマニュアルに沿って対応している。毎日の消毒など業務は多忙化する。業務アシスタントを配置しているが各校の状況を見ながら増員することも検討していく。

夏休みの短縮による暑さ対策はどうか。

答 クーラーの設置は、特別教室の設置率が36%なので普通教室の併用で工夫していく。



にしかわ てるお
西川 照雄
議員

森林環境譲与税とおかやま森づくり県民税の今年度の予算配分について

問 譲与税について国の通達により、具体的な配分目安があらかじめ示されているのか。

答 法34条には、森林の整備、人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進などについての用途を定めているのみで、配分に関し、国から具体的な目安は、示されていない。

問 確認するが、農林水産省、林野庁、総務省とも何ら配分についての枠組みというか、指針なども示されていないのか。

答 そのようなものも示されていない。

問 森林組合、市内事業体など関係機関からの意見聴取は行われたのか。

答 森林組合とは平素から、意見交換を行い、要望書も提出された。その他の団体とも会議をもって意見をいただいている。

問 では、それらの意見等は参考意見か、配分を補強するための位置づけとなるものか。

答 予算を活かすための、参考意見として捉えている。

問 約400万円弱の森づくり県民税は、積み上げによる算入額か。

答 本市が、事業として手を挙げたものについて、県から配分されるものである。

問 約1億円の譲与税の配分に基準設定などはあるのか。喫緊の課題である森林整備に重きを置いた配分をすべきと考えるか。

答 基準設定はない。全庁からの意見を調整し、優先順位ではなく、地域の実情を勘案し、目的に沿った決めたいものである。

新見市地域防災計画について

問 島根原発災害発生時の、広域避難について住民への周知は。

答 島根県と岡山県とで協議を行っている。市では昨年11月にマニュアルを作成した。市のホームページで公開したいと考えている。



いわた ひでゆき
岩田 秀之
議員

災害時における避難所の感染防止対策について

問 感染症下の災害では避難所の密集を避ける観点から従来よりも多くの避難所の設置が必要になってくるが、今後の取り組みは。

答 感染症の感染拡大に対応した避難所運営においては、密集・密接を避けるため、避難者の状況によっては、従来開設避難所のほか、その周辺の避難所を開設することで、避難場所の確保を図る。

問 避難を余儀なくしなければならぬ災害においては避難所を分散することでウイルスの拡大を小さくできると考えるが、本市にある指定避難所以外の宿泊施設などを活用する取り組みは。

答 安全な場所にある親戚や友人宅への避難、さらに車中避難も検討していく。また、ホテルなどの宿泊施設の利用についても、今後検討が必要であると考えている。

避難所での感染拡大を防ぐための新たな備蓄品の拡充についての考えは。

答 新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受け、各支局、市民センター、公民館等にマスク・消毒液の追加配備を行っている。非接触式体温計やパーティションについては、今後順次拡充していく。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、今後の支援対策について

問 農林業者への持続化給付金の周知はできているのか。

答 本庁および各支局窓口チラシを設置するとともに、ホームページにも記載をしている。

問 低所得のひとり親家族の支援について、相談・支援体制の構築強化を図る取り組みは。

答 本市におけるひとり親世帯は本年5月末現在で251世帯であり、そのうち児童扶養手当受給資格認定者は181人であり、相談対応している。また、国の新型コロナウイルス感染症対策である、「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給に関しては、国の補正予算成立後、相談支援について速やかに対応していく。



こがわ まさかず
小郷 昌一
議員

アフターコロナ・ウィズコロナをどうとらえるか

問 この度の新型コロナウイルス感染症で、大きく影響を受けた業種の支援策は。

答 今は国の事業や市独自の支援をしているが、収束後を見通した地域事業者の発展・活性化につながる支援策を検討する。

問 ふるさと回帰やターンが増えると考えられるが施策は。

答 本市の優れた点を前面に出した新たな移住対策を検討する。

ラストワンマイル(150億円以上)の整備された成果を問う

問 教育のICT化によるオンライン授業の取組状況は。

答 小中学校5校で2回のオンラインでの家庭学習をしたが、今後は双方向の日常的な学習の行い方として進めていく。

問 市職員や民間事業所のテレワークの取組状況は。

答 市庁舎端末とインターネットは情報セキュリティ上、つなげない。市内事業所については具体的に把握していない。

問 インターネット接続率を向上させる施策はないか。

答 4月末時点で接続率41・1%、5142件であり、通信事業者にはサービスの向上とともに市民の負担が増えないよう交渉していく。

市民の生命と財産を守る消防団について

問 団員の指揮を執る、団本部や分団本部の施設の充実は。

答 施設は必要であり、既存の施設を活用できるよう調査・研究をする。

問 消防団員の条例定数と報酬の見直しはないか。

答 条例定数については、精査し見直しを検討し、報酬については条例定数に含めて考える。

問 消火栓や消火栓用消火器具の点検・交換の実態は。

答 消火栓は消防団員や消防職員が適切な管理を行い、消火栓用消火器具の点検・交換は地域団体(行政区)が行い、新設・交換については市の補助制度がある。高齢等で管理ができない地域団体は、近くの消防団員や消防署に相談を。



みやもと ひでき
宮本 英基
議員

新型コロナウイルス感染対策について

問 新型コロナウイルス感染対策で国は新見市に29億円の定額給付金を給付している。新見市は約1億支給している。今後積み立ての基金を活用し、例えばプレミアム商品券5万円を配るなど市民に還元すべきではないか。

答 新型コロナウイルスの第2波、第3波も来る可能性がある。国の動向を見て対応したい。

問 令和2年度当初予算で小学校のスキー教室及び水泳教室をなぜやめたのか。保護者や先生と協議したうえで中止したのか。

答 スキー教室はふるさと発見のびのび体験事業でできるので学校で考えて何をするか考える。スキー教室、水泳教室の中止については校長会等で協議し決定した。

新見駅の整備について

問 新見駅を利用して高齢者はエスカレーターを求めている。新見駅にエスカレーターは設置できないか。

答 新見駅のバリアフリー化の必要性については充分認識している。JRと早期のバリアフリー化の要望を行っている。



エスカレーターイメージ図

問 新見駅周辺で月極駐車場が満車になっているので月極駐車場を整備できないか。

答 新見駅周辺のまちづくりについて検討し、進めていく中で協議していきたいと考えている。

新見市指定ゴミ袋について

問 新見市指定ゴミ袋の新しいゴミ袋はなぜ容量を小さくしたのか。

答 前のゴミ袋よりは入る量は少なくなつたが、一般的に45リットルのゴミ袋を採用したため。

実際に入る大きさ
(シール部分を除く)

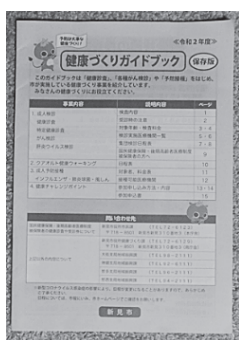


成人検診について

問 集団検診は当初の計画どおり実施できるか。感染症防止対策は取られているか。

答 検温、マスク着用、消毒、換気など密にならないよう工夫しガイドブックに記載している計画どおりの日時、会場で実施する。個別検診については、各自医療機関へ予約してほしい。

問 国民健康保険と後期高齢者医療制度の被保険者で、市の指定医療機関以外で人間ドックを受診した人に対する新規事業は。



配布されている
健康づくりガイドブック

答 検診結果を市に提出すると、にみん箱ティッシュを進呈する。保健指導を受けることもできる。



すぎもと みちこ
杉本 美智子
議員

避難所での感染症防止対策について

問 自主防災会との協働が必要。事前に避難所担当職員と自主防災会が備蓄品や災害時の動きなど情報共有しておく必要があるのではないかと。

答 職員が各地の防災訓練などに参加することは可能である。

問 密集を避けると避難所の定員は少なくなる。各自主防災会において指定避難所以外に避難できる集会所や社寺、商業施設等を探しておいていただいてはどうか。

答 そのように各地域で準備していただけるのはありがたい。

問 自主防災会の組織率は。また自主防災会ができていない地域の災害対応は。

答 組織率は54.2%。組織ができていないところも含めガイドラインに沿って職員が災害対応する。

正田複合施設建設事業について

問 事業概要、目的、方針を質す。

答 正田へ利便性が良い体育施設、社会教育施設、避難所等の機能を備え、交流と小規模多機能自治の拠点となる施設を建設する。令和4年度から検討をはじめ



えのき ひてお
榎 日出男
議員

林業の推進について

問 森林環境譲与税は、森林の保水力が低下し、気象変動により豪雨災害が多発している状況から、今年度より譲与税が2年前倒しの倍額になっている。担い手の育成、確保は。

答 林業の担い手の育成、確保については、森林環境譲与税を活用し、本市及び市内の林業事業体で構成する新見市林業担い手対策協議会とともにホームページ等によるPRや毎年県内外の就業相談会に出展し林業の魅力積極的に発信している。

その成果は。

答 相談会に出展したことで、市内の林業事業体に2名が就業している。今後のPR活動に加え、県が新たに整備を進めている、林業技術研修施設などでの研修費経費の一部に環境譲与税を活用することを検討し、人材育成、確保につなげたい。

問 夏場の過酷な下刈作業に対し、譲与税で賃金の上乗せはできないか。

答 夏場の過酷な現状は承知しており、国の下刈作業の賃金につながる補助単価の増額や夏期限定の追加補

助の要望など、県下他市と情報交換し、研究していきたい。

問 作業道等の新設に地元負担金の一部を譲与税で負担できないか。

答 作業道開設の負担金軽減については、事業費に譲与税を活用するなど、制度全体の見直しを研究していく。

障がい者の就労支援について

問 公共施設の指定管理業務での就労は考えられないか。

答 指定管理施設において、就労可能な業務については、各指定管理者に対して障がい者の雇用につながるよう、積極的に働きかけていく。

道路改良について

問 市道昭和町元町線の三差路及び明治町交差点の改良は。



明治町交差点付近の現状

答 元町三差路については関係者の意向を確認するとともに、安全の確保に向けて調査・研究していく。明治町交差点については、大型トレーラーが通行に苦慮していることは承知しており、通行の確保に方策を検討したい。



おかざき ひろお
岡崎 裕生
議員

バイオマス事業について

問 森林バイオマス事業について、市内の森林エネルギーの消費の状況は。

答 バイオマス発電所で80トン（1日）神郷温泉バイオマスボイラで1トン（同）を消費している。

問 未利用材以外の一般材の活用に対する助成は。

答 活用助成は今のところ考えていない。

問 植林や里山整備など森林整備に対する助成は。

答 既存事業を活用した植林の促進に努めたい。里山整備については、既存の荒廃竹林整備事業や緩衝体整備事業を活用する。

問 バイオマス事業の推進についての考えは。

答 新見市バイオマス活用推進計画の見直しの中で本市の状況を踏まえ、バイオマス産業都市構想への応募も考えていきたい。

福祉の充実について

問 聴覚障がい者の支援として手話言語条例の制定はできないのか。

答 条例制定は今のところ考えていないが、聴覚障がいのみならず障がいがある方々全てに、きめ細かな支援を行っていく。

問 ICTを活用した意思疎通支援サービスの導入についての考えは。

答 遠隔手話サービスについて、市としても導入に向けて検討を行っていく。

問 ひきこもり状態にある方々を含め8050問題への取り組みについての考えは。

答 本市福祉課・健康づくり課・ほえみ広場にいみが岡山県備北保健所と連携して対応している。

学生支援について

問 新型コロナウイルスの影響を受けた新見公立大学生への支援は。

答 大学では生活支援センターを設置し対応強化している。独自の支援は考えていない。

問 新見公立大学の新型コロナウイルス対策に関して地方創生臨時交付金は活用されるのか。

答 国の第2次配分について予算化された場合は、新見公立大学についても最大限の活用を考えている。

問 市外に出て生活している本市出身の学生への支援は。

答 それぞれの大学や国・自治体で各種の支援がなされている。本市独自の支援は考えていない。



ふるかわ ひであき
古川 英明
議員

新型コロナウイルス感染症禍における本市の支援について

問 融資を前提とした事業主への支援ではなく、給付型の支援策の方が良いのではないか。

答 融資を受けることは、今後も意欲を持って事業継続を考えているととらえ、市の支援策として創設した給付型の支援策は、国が行っている持続化給付金を活用してもらいたい。今後も様々な支援策を考えていきたい。

学校教育の推進について

問 GIGAスクール構想とは。

答 児童生徒一人ひとりにタブレット端末を整備し、授業で活用することにより個別の学びが効果的にでき、学習意欲や関心が高まり、学びに向かう姿勢についての効果が大きいと考える。また、オンライン学習にも使え、学校の授業と家庭学習を一体的に進めることも可能になる。

問 新型コロナウイルス感染症禍で教職員への負担が増加しているが、教育委員会としての配慮は。

答 感染症防止へ細心の注意を払っての教育活動で、教職員の心理的負担は大きいと考える。各校と連携を密にして状況把握に努め、必要ならば、教職員をサポートする業務アシスタントの配置などを考えたい。

地元就職の若者支援について

問 高卒者、大卒者及び若者の中途地元就職者の状況は。

答 高卒の地元就職者は、平成29年度が29人、30年度が20人、令和元年度が28人。市が交付しているI・J・Uターン就職奨励金の実績では、30年度が17人、令和元年度が33人である。

問 地元就職の若者は本市の宝であり、人口減少対策の柱となり得るので、「就職奨励金制度」を創設してはどうか。

答 就職奨励金制度の施策でどれだけの効果があるかわからない。まずは幼児期から社会に出るまでに市内に残り、市内で働くことの喜びを伝えることや、市内企業が魅力的な職場環境になるよう働きかけていくことなどで就労につなげていきたい。

新型コロナウイルス感染症に関するデマにご注意ください。

新型コロナウイルス感染症対策では、市内の医療・介護・福祉従事者のみなさま、そしてすべての事業所の方々におかれましては、献身的かつ適切な対応により、地域の感染拡大防止に一方ならぬご尽力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

自粛要請が解かれ、徐々に社会経済活動が再開されつつあるとはいえ、感染症拡大が収まったということではなく、依然として、警戒しながらの社会活動、いわゆる「新しい私たちの生活様式」が求められています。

感染症拡大のさなかでは、様々な情報がインターネットやSNS等を通じて流され、憶測によるデマや誤った情報のやり取りや拡散が、市内でも見受けられました。感染症に関する情報は、行政や公的機関により、科学的根拠に基づいた最新かつ正確なものが発せられます。これらの情報をもとに引き続き、冷静な判断や行動を取られることをお願いします。なお、最新かつ正確な情報は、岡山県及び新見市のホームページで公表されます。

個人情報保護が強く要請される現代、不確かな情報や根拠のないうわさ、デマなどの拡散は、重大な人権侵害やパニックを引き起こすことになりかねません。市民のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

(新見市議会広報特別委員会)

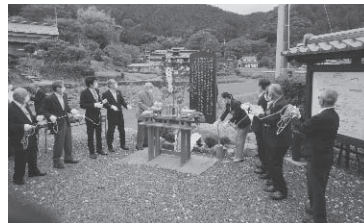


市役所で実施した医療・介護・福祉従事者への感謝を込めたフライデーオベーションのようす

議長等の活動報告

4月1日 新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第5回）〔議長〕
6日 春の交通安全運動に伴う街頭查察〔議長〕
8日 岡山市議会議長会監査〔議長〕
9日 新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第6回）〔副議長〕
10日 松江安来新見間国道昇格期成同盟会監査
〔議長〕
16日 新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第7回）〔議長〕
17日 新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第8回）〔議長〕
23日 新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第9回）〔議長〕
5月7日 新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第10回）〔議長〕
18日 新見ファーム合同会社落成式出席〔議長〕
新見市新型コロナウイルス感染症対策本部
会議（第11回）〔議長〕
20日 議員全員協議会
25日 議会運営委員会／議員全員協議会

6月1日 令和2年6月新見市議会定例会本会議
9日 本会議（一般質問）／議会運営委員会
10日 本会議（一般質問）
12日 総務消防常任委員会
15日 文教福祉常任委員会
16日 産業建設常任委員会
17日 予算決算常任委員会／議員定数等検討特別
委員会
18日 新見駅周辺地域のまちづくり特別委員会
19日 第3次新見市総合計画検討特別委員会
22日 議会広報特別委員会
23日 岡山県瓦工業協働組合との調印式〔議長〕
24日 議会運営委員会
25日 議員全員協議会／本会議
26日 山田方谷記念碑除幕式〔議長〕
30日 市道井倉線新井倉橋渡り初め〔議長〕



◀ 山田方谷記念碑除幕式

令和元年度政務活動費収支報告

政務活動費は、新見市議会議員の調査研究活動に要する経費の一部として、新見市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付されるものです。その管理は、議員個人で行うこととされ、毎年、収支報告が義務付けられています。

議員名	交付額	報告額	自己負担額	返還額	議員名	交付額	報告額	自己負担額	返還額
西川 照雄	360,000	199,438		160,562	難波 孝一	360,000	307,334		52,666
岡崎 裕生	360,000	359,739		261	小郷 昌一	360,000	418,833	58,833	
古川 英明	360,000	157,121		202,879	林 光和	360,000	311,922		48,078
宮本 英基	360,000	429,669	69,669		塩飽 満路	360,000	188,190		171,810
小河 俊文	360,000	382,919	22,919		橋本 亨子	360,000	171,422		188,578
岩田 秀之	360,000	300,791		59,209	仲田 康豊	360,000	197,922		162,078
坂東 義生	360,000	139,960		220,040	榎 日出男	360,000	258,016		101,984
山本 昌次	360,000	321,746		38,254	石田 實	360,000	164,310		195,690
杉本美智子	360,000	334,599		25,401	藤澤 正則	360,000	384,008	24,008	

※収支報告書、会計帳簿は市ホームページでご覧いただけます。



Q 選挙費用のしくみはどんなところなの？

A 選挙事務については、すべて地方自治体で行っています。その費用についての財源は、国政選挙は国が、県知事及び県議会議員選挙は県が、それぞれかった費用の全額を負担します。新見市長・市議会議員選挙の場合は、選挙のある年度当初に予算化されます。ちなみに直近の選挙費用は、平成28年度の市長選挙の決算額（一部市議会議員選挙費を含む。）は2614万4千円。平成29年度の市議会議員選挙の予算額は、3593万3千円でしたが、無投票選挙だったため、決算額は691万1千円でした。

市長及び市議会議員選挙を同日に実施した場合には、期日前投票や投開票などの事務が一回で済むことから、人件費などの経費が少なくてすみますが、選挙にかかった費用は、概ね普通交付税により補てんされています。

9月定例会(予定)

29日 (火)	23日 (水)	18日 (金)	17日 (木)	16日 (水)	15日 (火)	14日 (月)	11日 (金)	10日 (木)	9日 (水)	8日 (火)	7日 (月)	9月 6日 (日)	8月 28日 (金)
本会議 閉会	議会広報 特別委員会	新見駅周辺地域のまち づくり特別委員会	議員定数等検討特別 委員会	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	産業建設 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務消防 常任委員会	本会議 予備日	本会議 一般質問	本会議(日曜開催) 一般質問	本会議 開会

編集後記

新型コロナウイルス感染症により、今なお、世界中では感染拡大が進み、死者は50万人を超えました。国内においても東京都や北海道では一向に収束する気配が見られない状況です。

ここ数か月、国内外が、新型コロナウイルスに翻弄され続けています。本市においてもその影響は甚大で、6月定例会の予算審議は、新型コロナウイルス対策を中心にしましたものでした。

このウイルスの出現によって、私たちの生活も大きく変わろうとしています。「ソーシャルディスタンス」「三密」「テレワーク」「マスク着用」「新しい生活様式」等々、これまで当たり前だと思ってきた生活が、一変しようとしています。

新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願うばかりですが、この災いを契機に、私たちのこれまでの考え方や意識のありようを、振り返ってみることも必要なことかもしれません。私たち議会人としてのありようも、然り。

(古川英明)

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501

新見市新見310-3

電話 0867-72-6151

FAX 0867-72-6183

メール

gikai@city.niimi.lg.jp